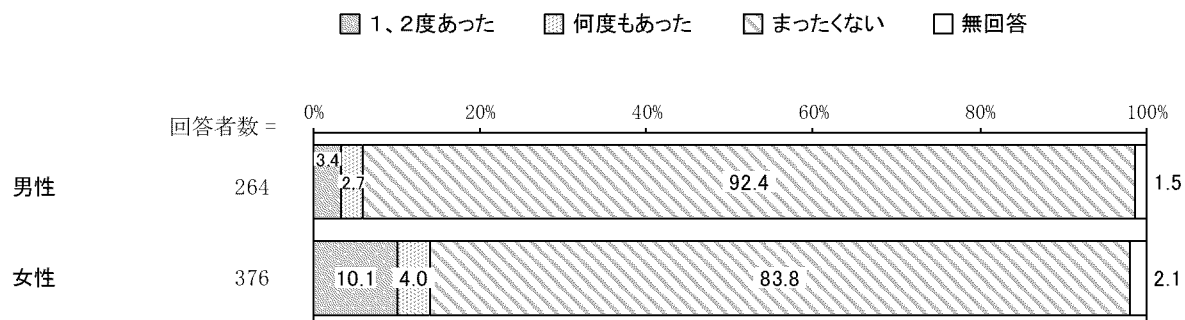


**B 人格を否定するような暴言や交友関係を細かく監視する、あるいは、あなたやあなたの家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫などの精神的な嫌がらせを受けた**

**【性別】**

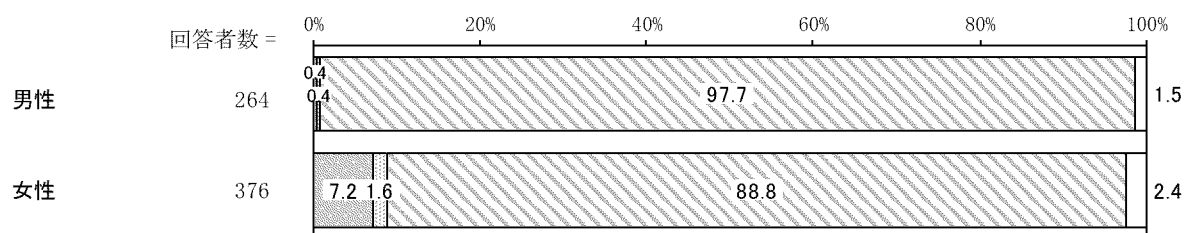
性別で見ると、女性に比べ、男性で「まったくない」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「1、2度あった」の割合が高くなっています。



**C いやがっているのに性的な行為を強要された**

**【性別】**

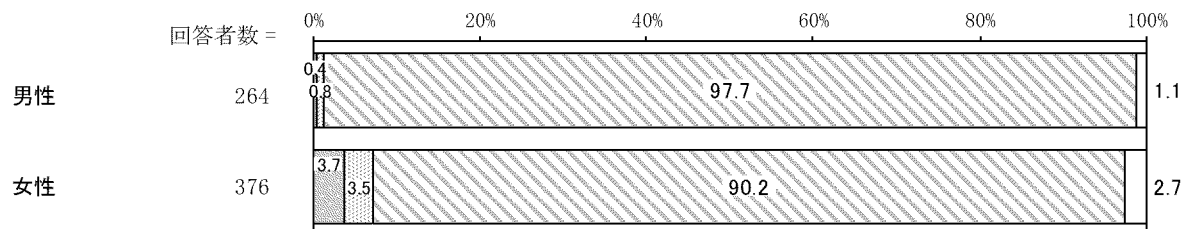
性別で見ると、女性に比べ、男性で「まったくない」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「1、2度あった」の割合が高くなっています。



**D 生活費を渡さないという経済的な制裁を受けた**

**【性別】**

性別で見ると、女性に比べ、男性で「まったくない」の割合が高くなっています。

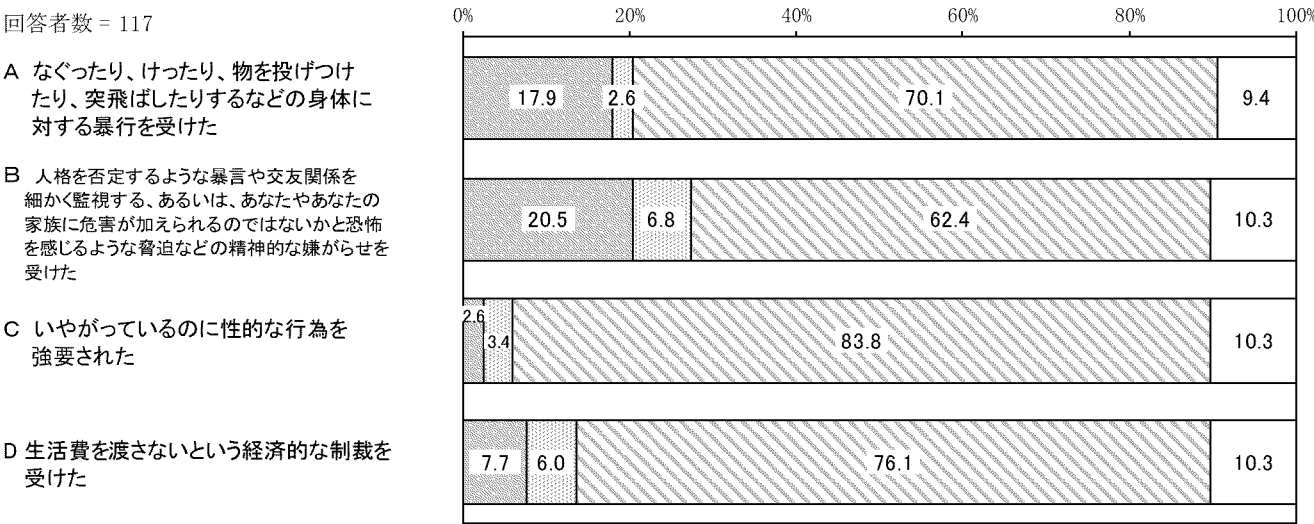


問 16-1 問 16 で、1 又は 2 に○をつけた方のみお答えください。  
 では、この5年については、どうでしたか。AからDまで、それぞれ該当する番号（1～3）1つに○を付けてください。

『A なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突飛ばしたりするなどの身体に対する暴行を受けた』『B 人格を否定するような暴言や交友関係を細かく監視する、あるいは、あなたやあなたの家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫などの精神的な嫌がらせを受けた』で「1、2度あった」の割合が高くなっています。

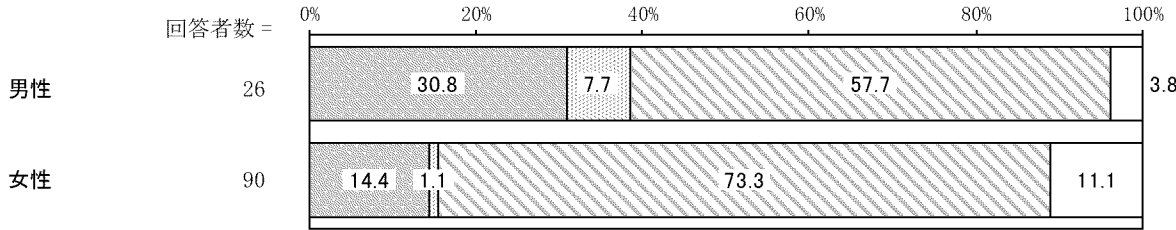
■ 1、2度あった    ■ 何度もあった    ■ まったくない    □ 無回答

回答者数 = 117



**A なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突飛ばしたりするなどの身体に対する暴行を受けた**  
**【性別】**

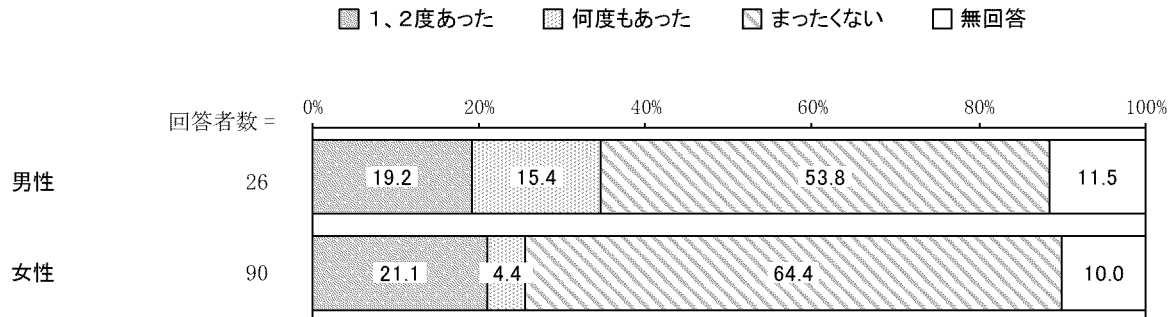
性別でみると、女性に比べ、男性で「1、2度あった」「何度もあった」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「まったくくない」の割合が高くなっています。



**B 人格を否定するような暴言や交友関係を細かく監視する、あるいは、あなたやあなたの家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫などの精神的な嫌がらせを受けた**

**【性別】**

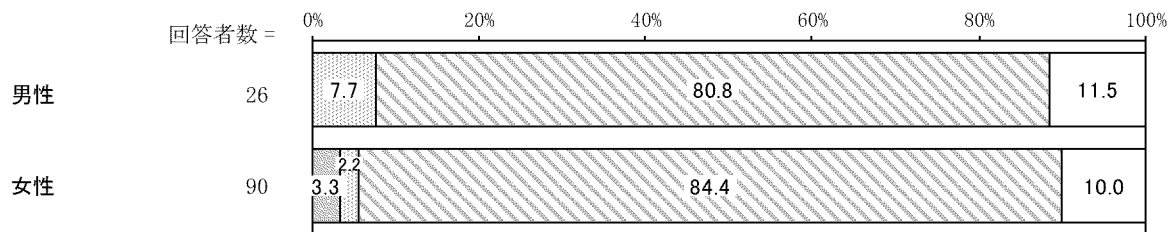
性別で見ると、女性に比べ、男性で「何度もあった」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「まったくない」の割合が高くなっています。



**C いやがっているのに性的な行為を強要された**

**【性別】**

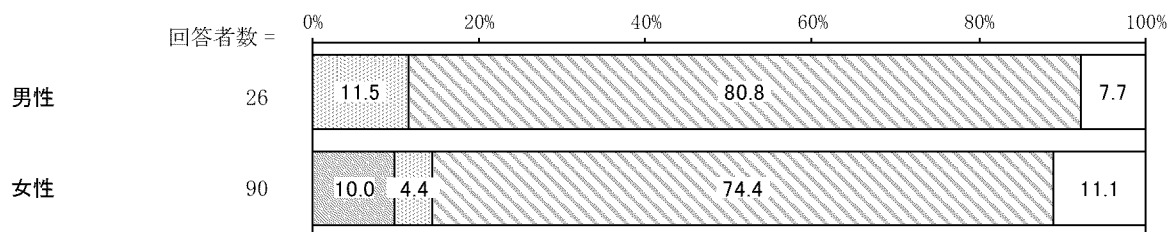
性別で見ると、女性に比べ、男性で「何度もあった」の割合が高くなっています。



**D 生活費を渡さないという経済的な制裁を受けた**

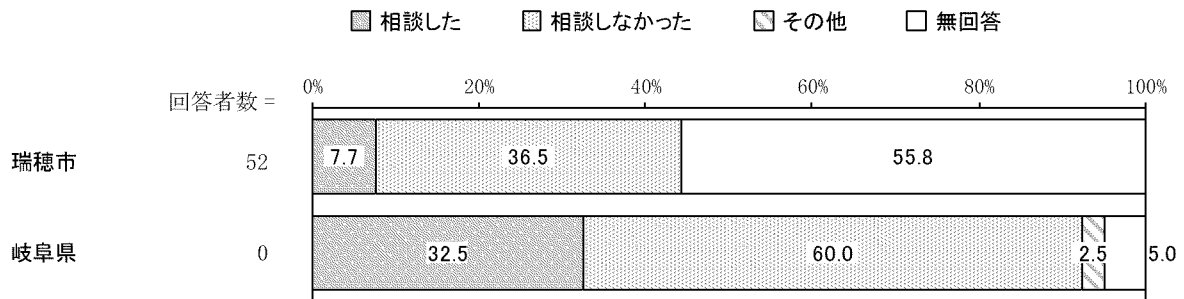
**【性別】**

性別で見ると、女性に比べ、男性で「何度もあった」「まったくない」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「1、2度あった」の割合が高くなっています。



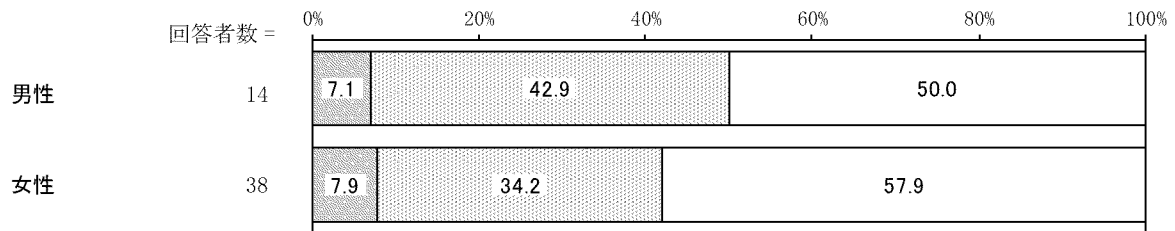
問 16-2 問 16-1 で、1 又は 2 に○をつけた方のみお答えください。  
 あなたは、配偶者や交際相手から受けたそのような行為について、誰かに相談しましたか。該当する番号（1～3）1 つに○を付けてください。

「相談した」の割合が 7.7%、「相談しなかった」の割合が 36.5%となっています。  
 岐阜県と比較すると、岐阜県に比べ、瑞穂市で「相談しなかった」の割合が高くなっています。



【性別】

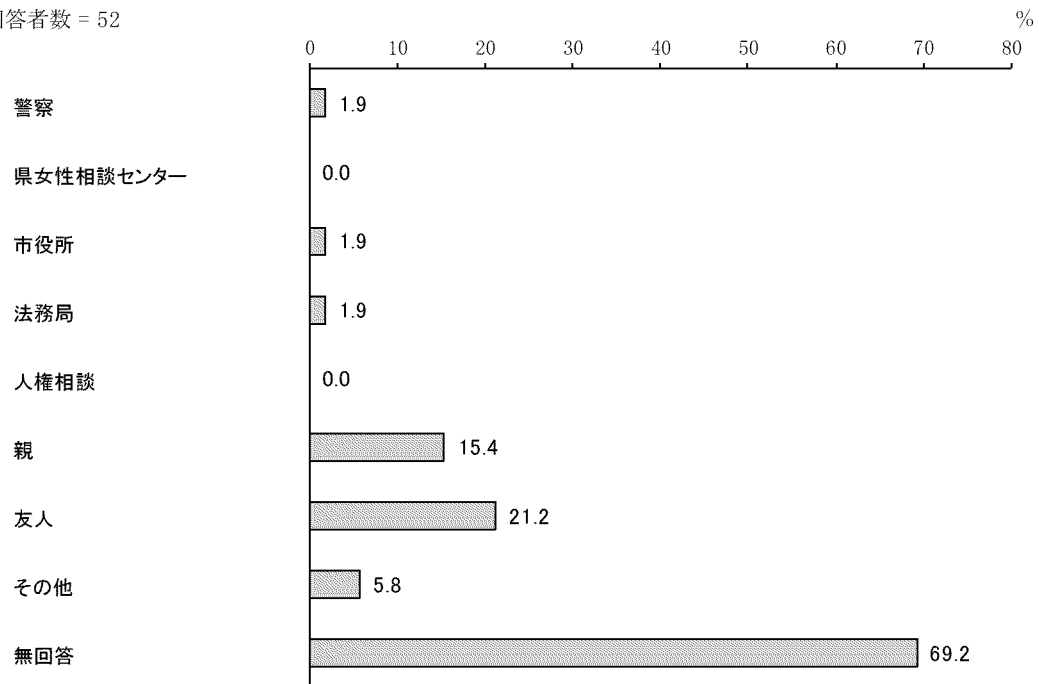
性別でみると、女性に比べ、男性で「相談しなかった」の割合が高くなっています。



相談した先すべてに○を付けてください。

「友人」の割合が21.2%と最も高く、次いで「親」の割合が15.4%となっています。

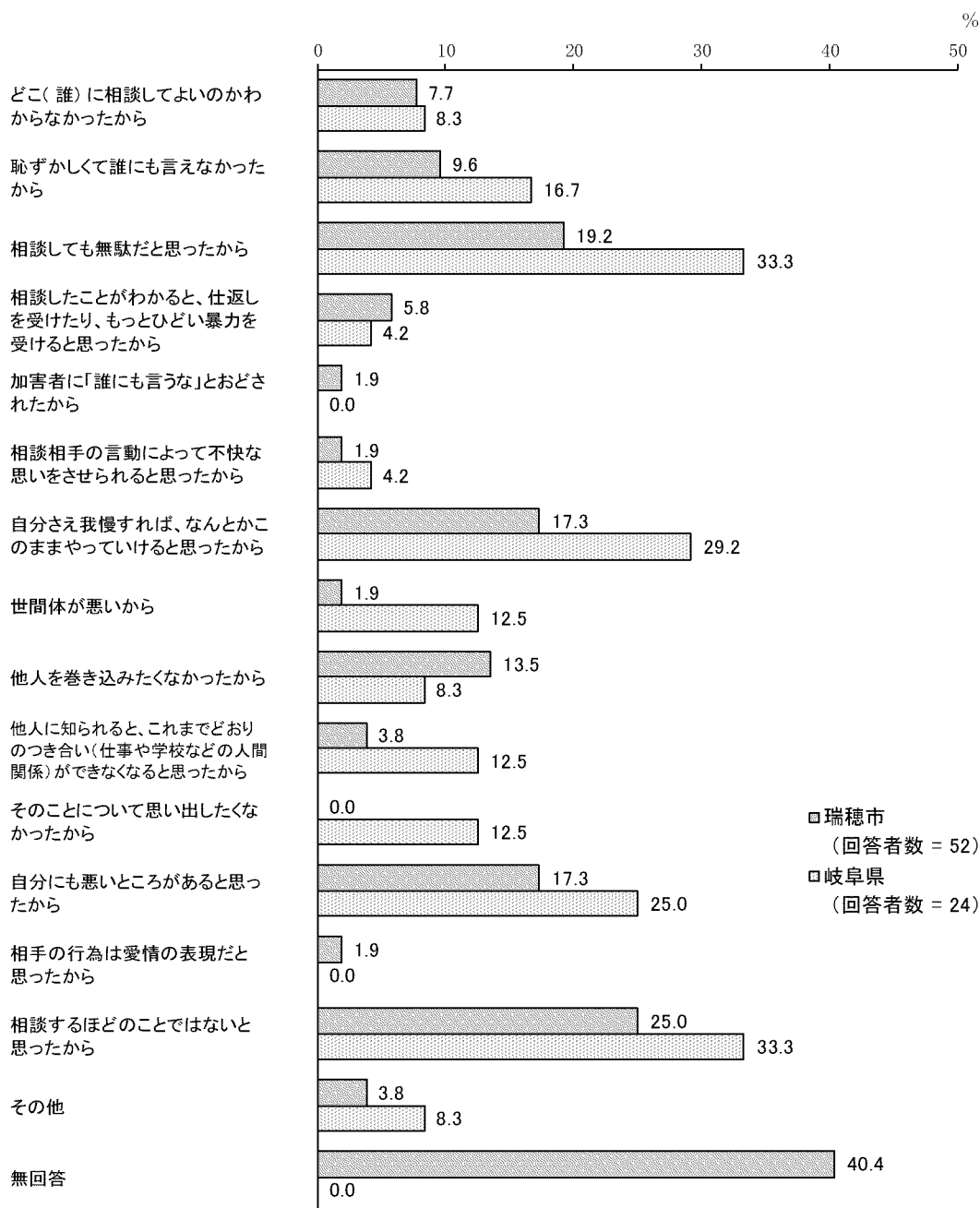
回答者数 = 52



相談しなかった理由はなんですか。該当する記号すべてに○を付けてください。

「相談するほどのことではないと思ったから」の割合が25.0%と最も高く、次いで「相談しても無駄だと思ったから」の割合が19.2%、「自分さえ我慢すれば、なんとかこのままやっていると」の割合が17.3%となっています。

岐阜県と比較すると、岐阜県に比べ、瑞穂市で「他人を巻き込みたくなかったから」の割合が高くなっています。一方、「恥ずかしくて誰にも言えなかったから」「相談しても無駄だと思ったから」「自分さえ我慢すれば、なんとかこのままやっていると」「世間体が悪いから」「他人に知られると、これまでどおりのつき合い（仕事や学校などの人間関係）ができなくなると」「そのことについて思い出したくなかったから」「自分にも悪いところがあると思ったから」「相談するほどのことではないと思ったから」の割合が低くなっています。



【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「どこ（誰）に相談してよいのかわからなかったから」「恥ずかしくて誰にも言えなかったから」「自分にも悪いところがあったから」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「自分さえ我慢すれば、なんとかこのままやっていけると思ったから」「他人に知られると、これまでどおりの付き合い（仕事や学校などの人間関係）ができなくなるといったから」の割合が高くなっています。

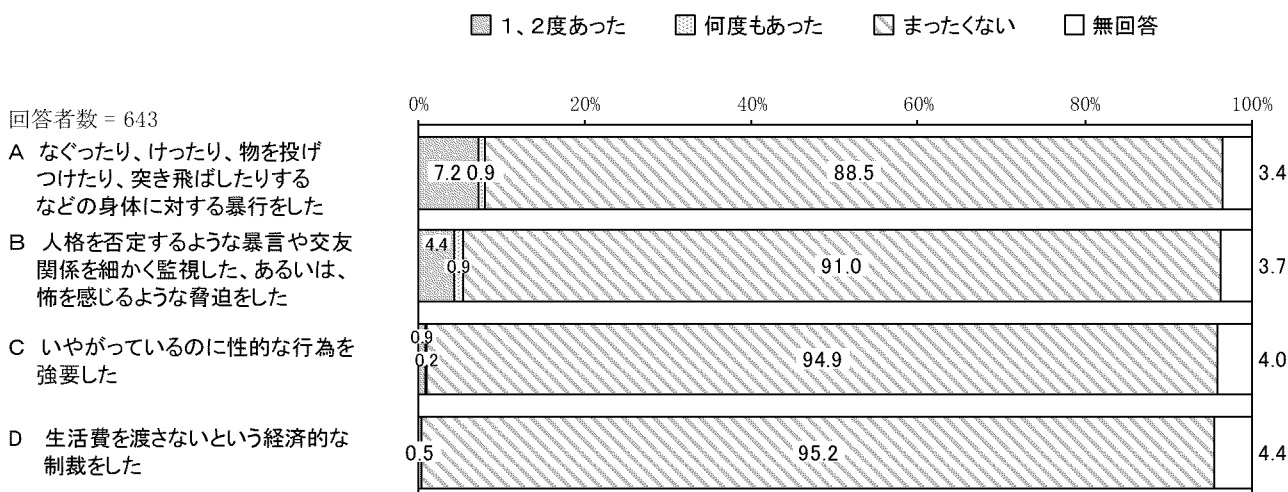
単位：％

区分	有効回答数（件）	どこ（誰）に相談してよいのかわからなかったから	恥ずかしくて誰にも言えなかったから	相談しても無駄だと思ったから	相談したことがわかると、仕返しを受けたり、もっとひどい暴力を受けるといったから	加害者に「誰にも言うな」とおどされたから	相談相手の言動によって不快な思いをさせられると思ったから	自分さえ我慢すれば、なんとかこのままやっていけるといったから	世間体が悪いから	他人を巻き込みたくなかったから	他人に知られると、これまでどおりの付き合い（仕事や学校などの人間関係）ができなくなるといったから	そのことについて思い出しにくかったから	自分にも悪いところがあると思ったから	相手の行為は愛情の表現だと思ったから	相談するほどのことではないと思ったから	その他	無回答
男性	14	14.3	14.3	21.4	7.1	—	—	7.1	—	14.3	—	—	21.4	—	21.4	7.1	21.4
女性	38	5.3	7.9	18.4	5.3	2.6	2.6	21.1	2.6	13.2	5.3	—	15.8	2.6	26.3	2.6	47.4

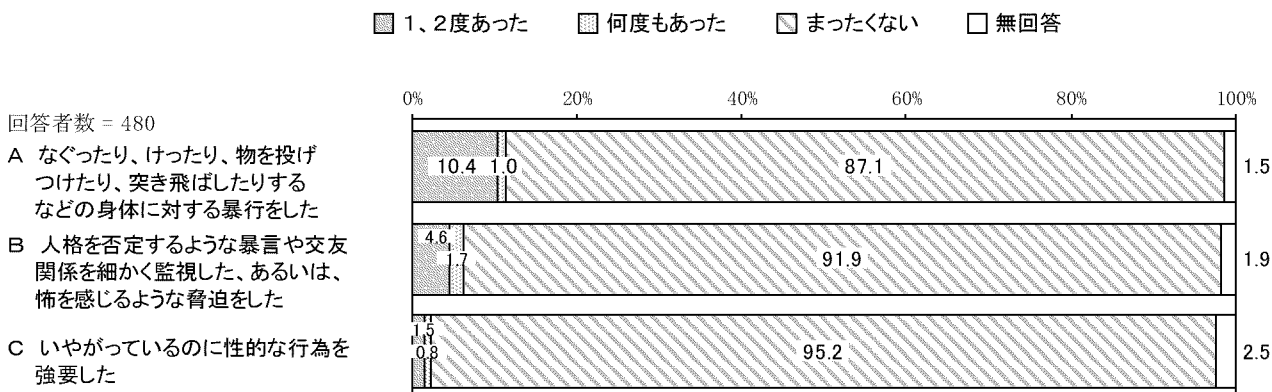
問17 あなたはこれまでに、配偶者や交際相手に次のようなことをしたことがありますか。AからDまで、それぞれ該当する番号（1～3）1つに○を付けてください。

『A なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴行をした』で「まったくない」の割合が低くなっています。

岐阜県と比較すると、大きな差異はみられません。



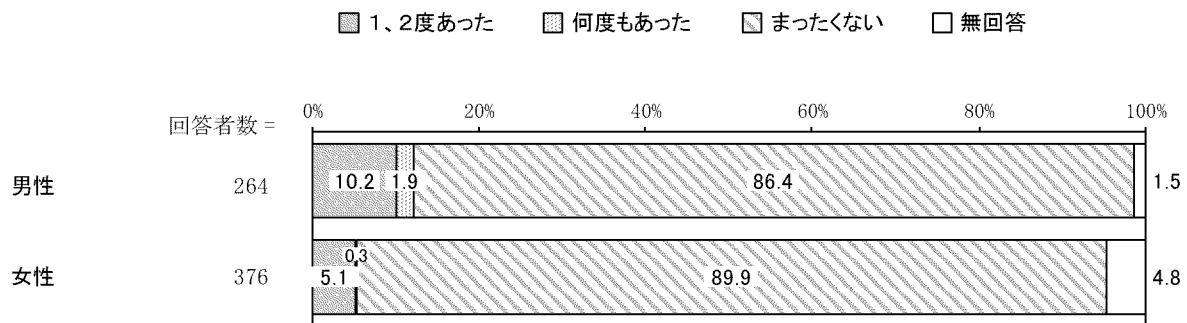
【岐阜県】





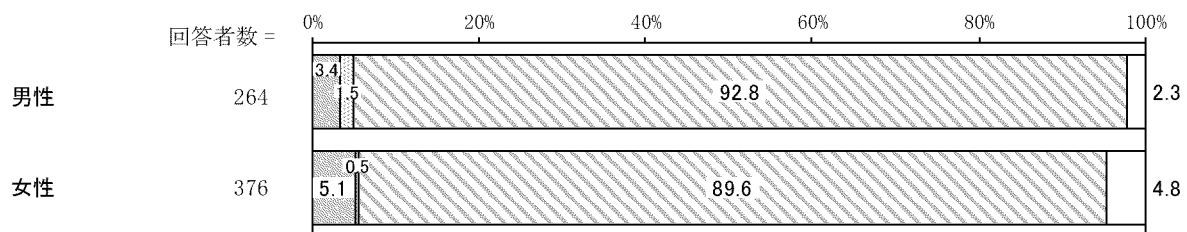
A なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴行をした  
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「1、2度あった」の割合が高くなっています。



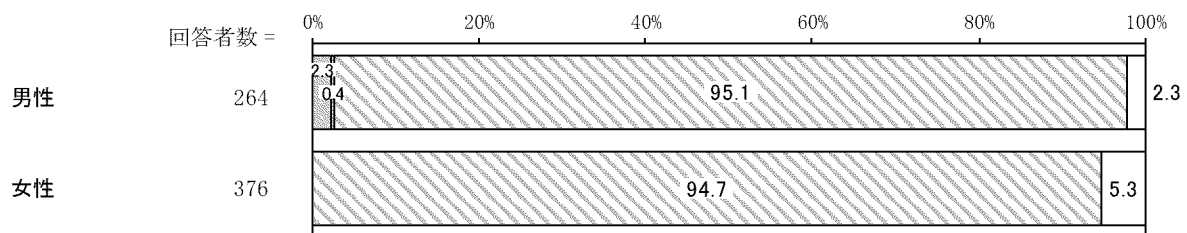
B 人格を否定するような暴言や交友関係を細かく監視した、あるいは、恐怖を感じるような脅迫をした  
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



C いやがっているのに性的な行為を強要した  
【性別】

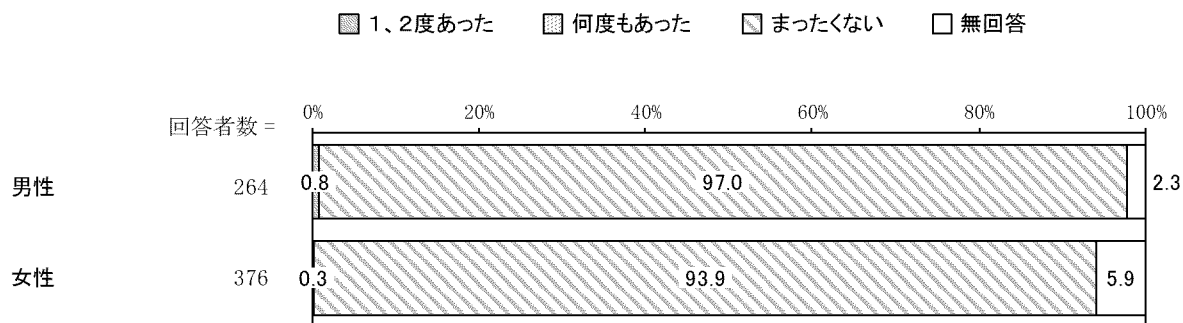
性別でみると、大きな差異はみられません。



## D 生活費を渡さないという経済的な制裁をした

### 【性別】

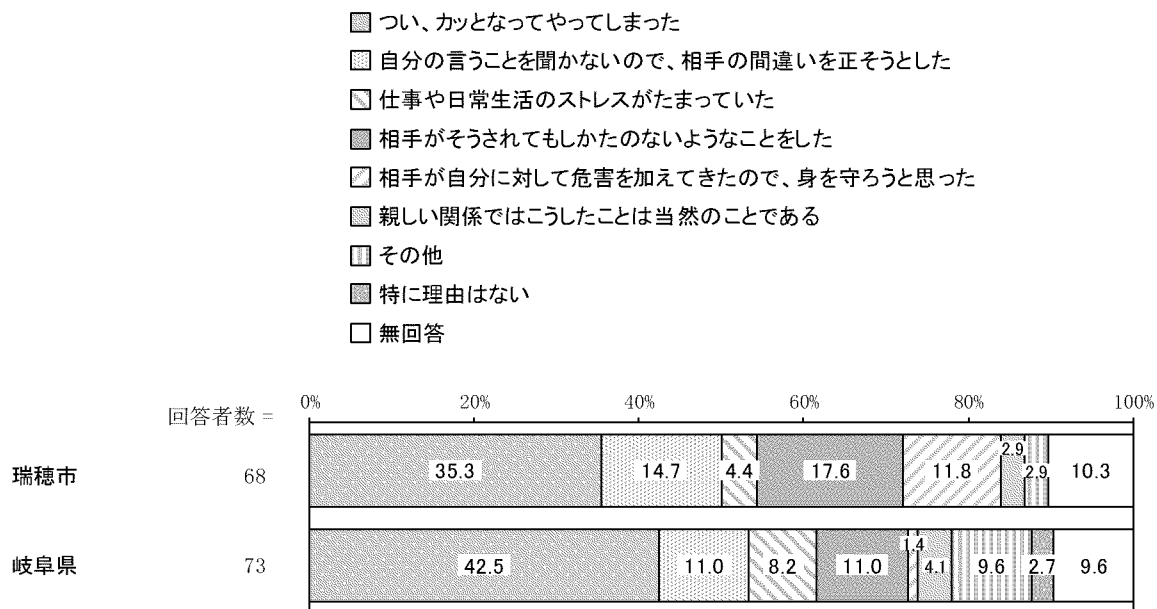
性別で見ると、大きな差異はみられません。



問17-1 問17で、1又は2に○をつけた方のみお答えください。  
その理由は何ですか。もっともあてはまる番号1つに○を付けてください。

「つい、カッとなってやってしまった」の割合が35.3%と最も高く、次いで「相手がそうされてもしかたのないようなことをした」の割合が17.6%、「自分の言うことを聞かないので、相手の間違いを正そうとした」の割合が14.7%となっています。

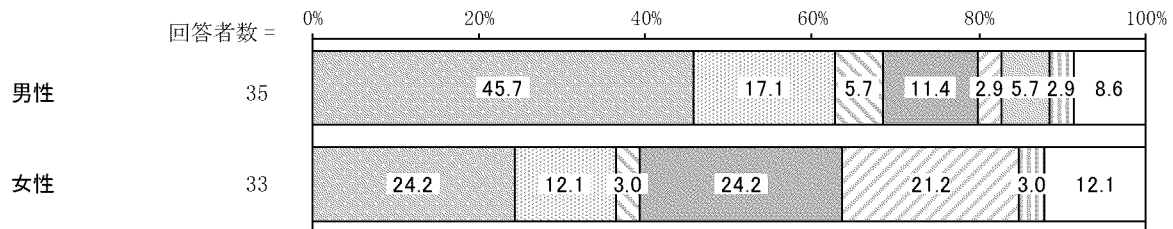
岐阜県と比較すると、岐阜県に比べ、瑞穂市で「相手がそうされてもしかたのないようなことをした」「相手が自分に対して危害を加えてきたので、身を守ろうと思った」の割合が高くなっています。一方、「つい、カッとなってやってしまった」の割合が低くなっています。



【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「つい、カッとなってやってしまった」「自分の言うことを聞かないので、相手の間違いを正そうとした」「親しい関係ではこうしたことは当然のことである」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「相手がそうされてもしかたのないようなことをした」「相手が自分に対して危害を加えてきたので、身を守ろうと思った」の割合が高くなっています。

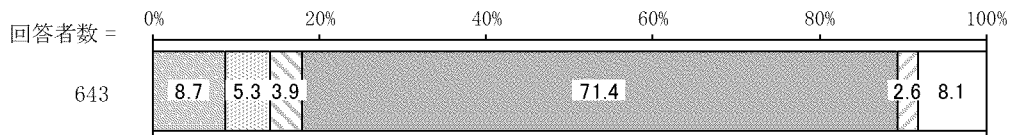
- つい、カッとなってやってしまった
- 自分の言うことを聞かないので、相手の間違いを正そうとした
- 仕事や日常生活のストレスがたまっていた
- 相手がそうされてもしかたのないようなことをした
- 相手が自分に対して危害を加えてきたので、身を守ろうと思った
- 親しい関係ではこうしたことは当然のことである
- その他
- 特に理由はない
- 無回答



問 18 あなたは、セクハラ、マタハラ、パタハラを経験したり、見聞きしたりしたことがありますか。該当する番号1つに○を付けてください。

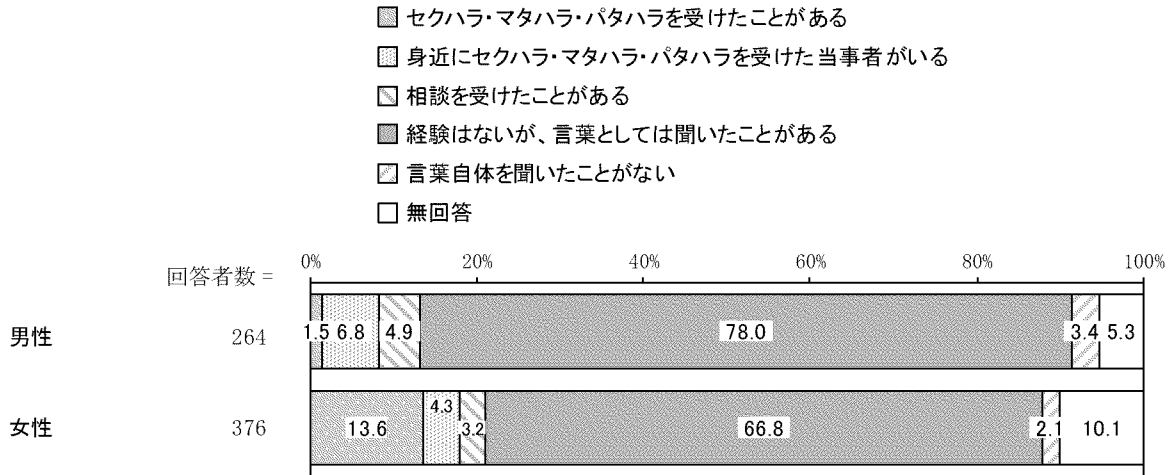
「経験はないが、言葉としては聞いたことがある」の割合が71.4%と最も高くなっています。

- セクハラ・マタハラ・パタハラを受けたことがある
- 身近にセクハラ・マタハラ・パタハラを受けた当事者がいる
- 相談を受けたことがある
- 経験はないが、言葉としては聞いたことがある
- 言葉自体を聞いたことがない
- 無回答



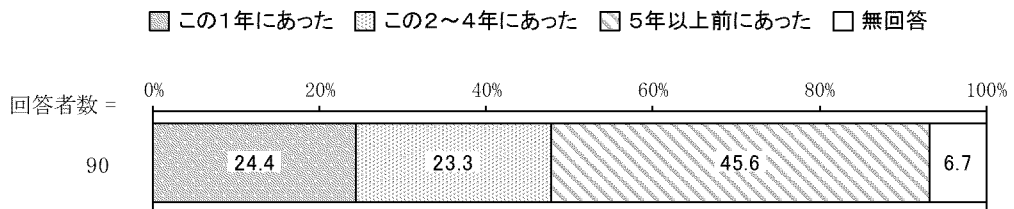
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「経験はないが、言葉としては聞いたことがある」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「セクハラ・マタハラ・パタハラを受けたことがある」の割合が高くなっています。



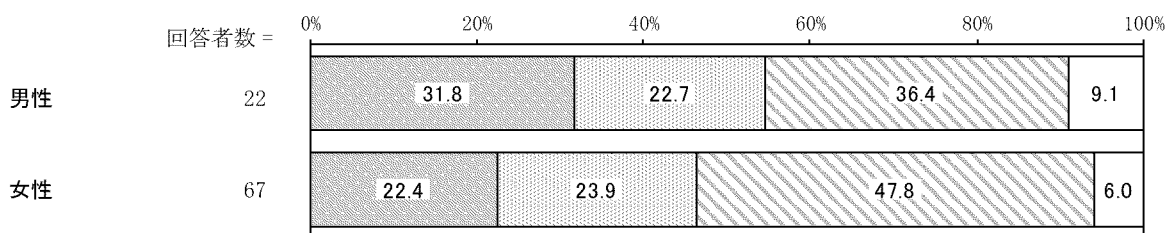
問 18-1 問 18 で、1 又は 2 に○をつけた方のみお答えください。  
セクハラ、マタハラ、パタハラを受けたのはいつ頃ですか。該当する番号に○を付けてください。

「5年以上前にあった」の割合が 45.6%と最も高く、次いで「この1年にあった」の割合が 24.4%、「この2～4年にあった」の割合が 23.3%となっています。



【性別】

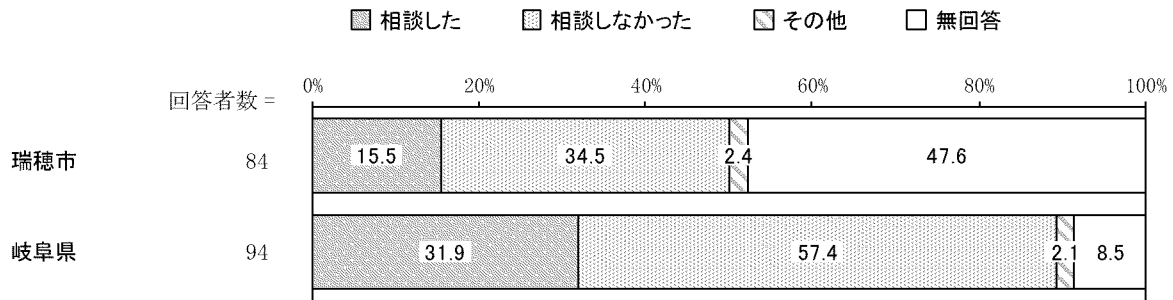
性別でみると、女性に比べ、男性で「この1年にあった」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「5年以上前にあった」の割合が高くなっています。



問 18-2 問 18-1 に答えた方のみお答えください。  
その時あなたは誰かに相談しましたか。該当する番号 1 つに○を付けてください。

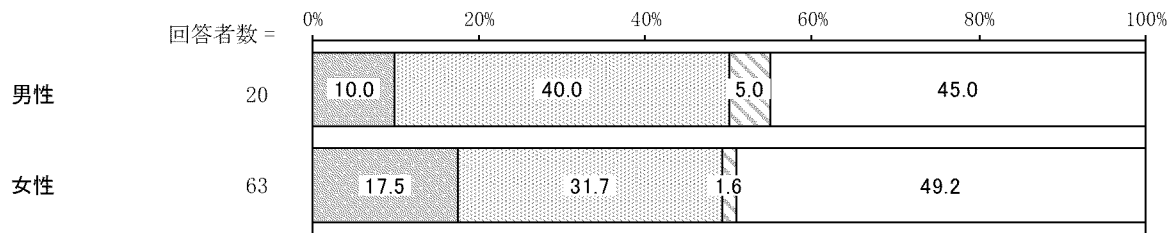
「相談した」の割合が 15.5%、「相談しなかった」の割合が 34.5%となっています。

岐阜県と比較すると、岐阜県に比べ、瑞穂市で「相談した」「相談しなかった」の割合が低くなっています。



【性別】

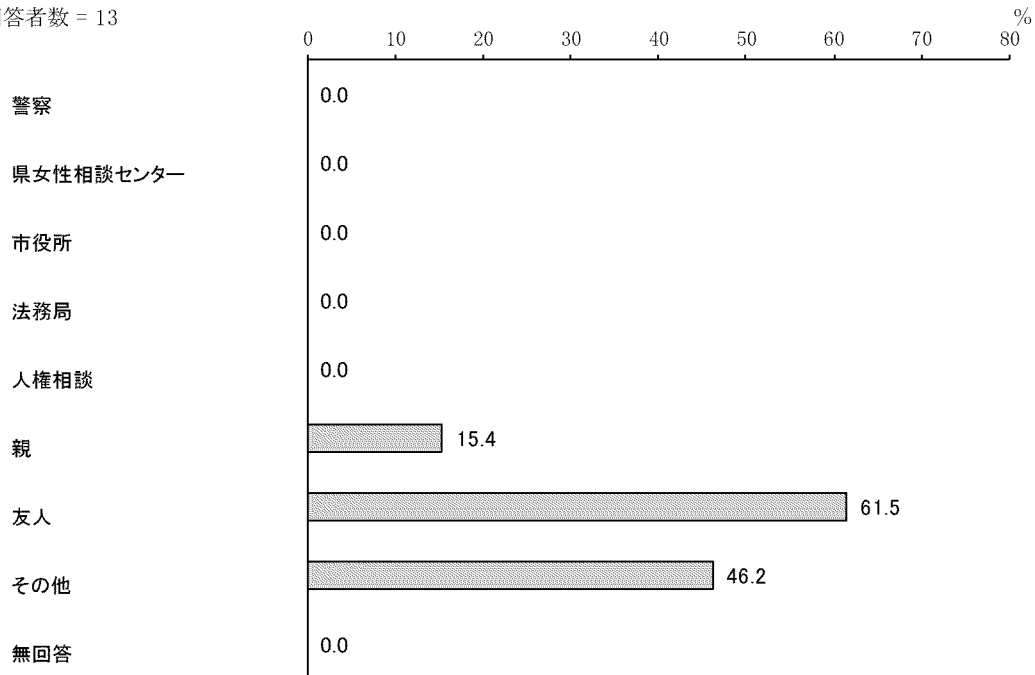
性別でみると、女性に比べ、男性で「相談しなかった」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「相談した」の割合が高くなっています。



相談した先すべてに○を付けてください。

「友人」の割合が61.5%と最も高く、次いで「親」の割合が15.4%となっています。

回答者数 = 13



【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「親」「友人」の割合が高くなっています。

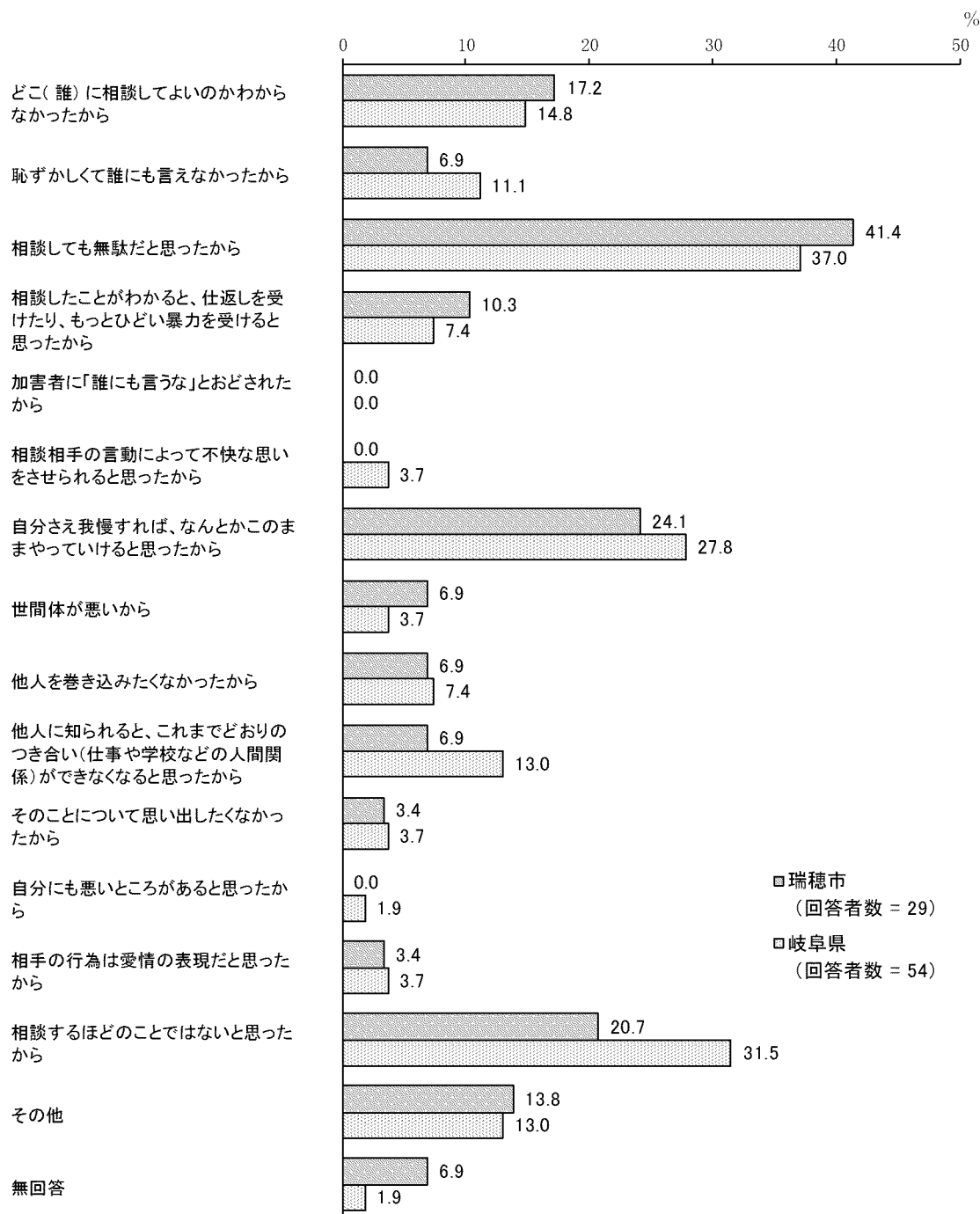
単位：%

区分	有効回答数(件)	警察	県女性相談センター	市役所	法務局	人権相談	親	友人	その他	無回答
男性	2	—	—	—	—	—	50.0	100.0	50.0	—
女性	11	—	—	—	—	—	9.1	54.5	45.5	—

相談しなかった理由はなんですか。該当する記号すべてに○を付けてください。

「相談しても無駄だと思ったから」の割合が41.4%と最も高く、次いで「自分さえ我慢すれば、なんとかこのままやっていけると思ったから」の割合が24.1%、「相談するほどのことではないと思ったから」の割合が20.7%となっています。

岐阜県と比較すると、岐阜県に比べ、瑞穂市で「他人に知られると、これまでどおりの付き合い（仕事や学校などの人間関係）ができなくなると思ったから」「相談するほどのことではないと思ったから」の割合が低くなっています。



【性別】

性別で見ると、女性に比べ、男性で「どこ（誰）に相談してよいのかわからなかったから」「相談したことがわかると、仕返しを受けたり、もっとひどい暴力を受けると思ったから」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「恥ずかしくて誰にも言えなかったから」「自分さえ我慢すれば、なんとかこのままやっていけると思ったから」「世間体が悪いから」「他人に知られると、これまでどおりのつき合い（仕事や学校などの人間関係）ができなくなると思ったから」「相談するほどのことではないと思ったから」の割合が高くなっています。

単位：%

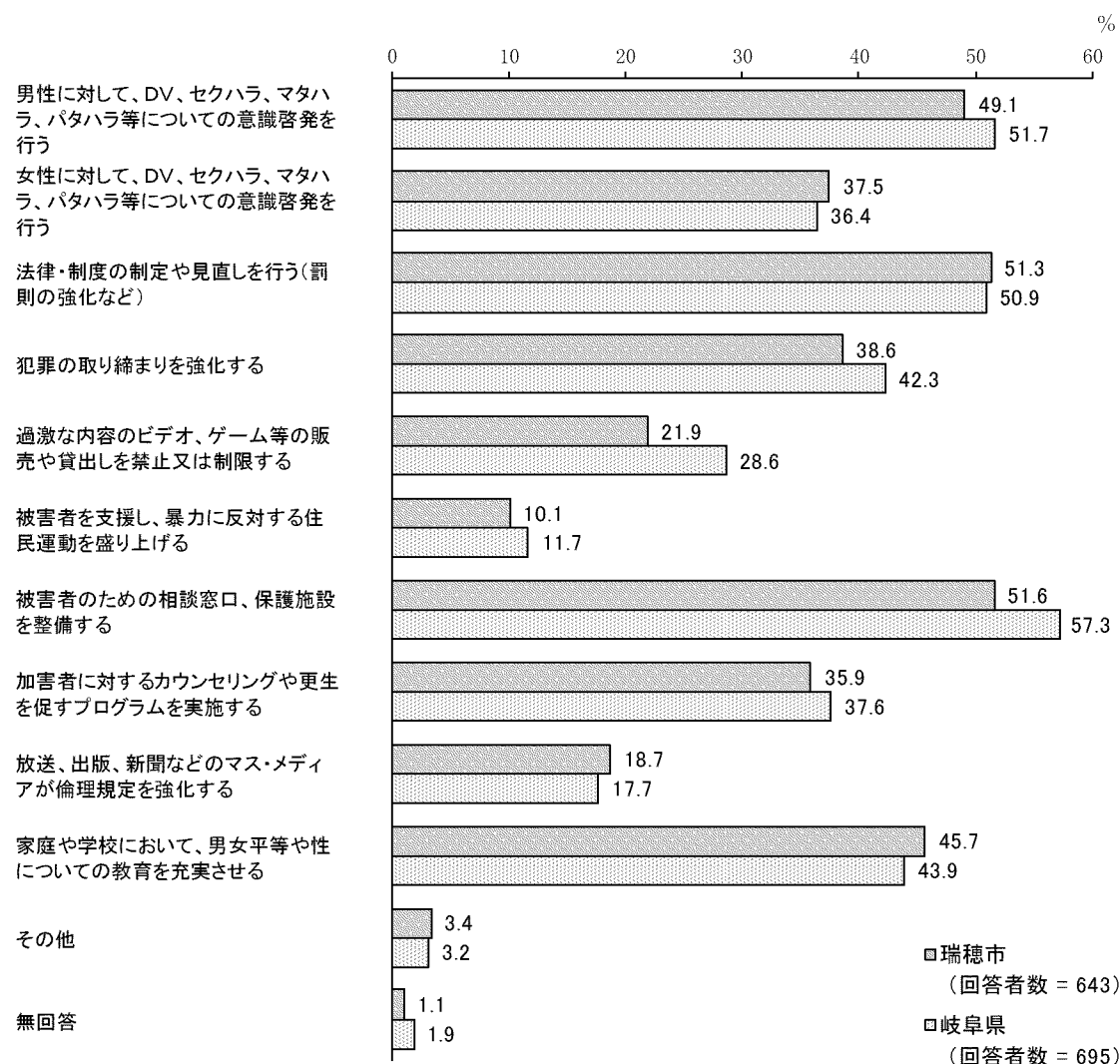
区分	有効回答数（件）	どこ（誰）に相談してよいのかわからなかったから	恥ずかしくて誰にも言えなかったから	相談しても無駄だと思ったから	ひどい暴力を受けると思ったから	相談したことがわかると、仕返しを受けたり、もっとひどい暴力を受けると思ったから	加害者に「誰にも言うな」とおどされたから	相談相手の言動によって不快な思いをさせられると思ったから	自分さえ我慢すれば、なんとかこのままやっていけると思ったから	世間体が悪いから	他人を巻き込みたくなかったから	他人に知られると、これまでどおりのつき合い（仕事や学校などの人間関係）ができなくなると思ったから	そのことについて思い出しなくなかったから	自分にも悪いところがあると思ったから	相手の行為は愛情の表現だと思ったから	相談するほどのことではないと思ったから	その他	無回答
男性	8	25.0	—	37.5	12.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	12.5	12.5	12.5
女性	20	10.0	10.0	40.0	5.0	—	—	30.0	10.0	5.0	10.0	5.0	—	—	25.0	15.0	5.0	



問 19 ドメスティック・バイオレンス（以下DVという）、セクハラ、マタハラ、パタハラ等の行為が社会問題となっていますが、これらの行為をなくすためには、どうしたらよいと思いますか。該当する番号（1～11）すべてに○を付けてください。

「被害者のための相談窓口、保護施設を整備する」の割合が51.6%と最も高く、次いで「法律・制度の制定や見直しを行う（罰則の強化など）」の割合が51.3%、「男性に対して、DV、セクハラ、マタハラ、パタハラ等についての意識啓発を行う」の割合が49.1%となっています。

岐阜県と比較すると、岐阜県に比べ、瑞穂市で「過激な内容のビデオ、ゲーム等の販売や貸出しを禁止又は制限する」「被害者のための相談窓口、保護施設を整備する」の割合が低くなっています。



【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「法律・制度の制定や見直しを行う（罰則の強化など）」「過激な内容のビデオ、ゲーム等の販売や貸出しを禁止又は制限する」「家庭や学校において、男女平等や性についての教育を充実させる」の割合が高くなっています。

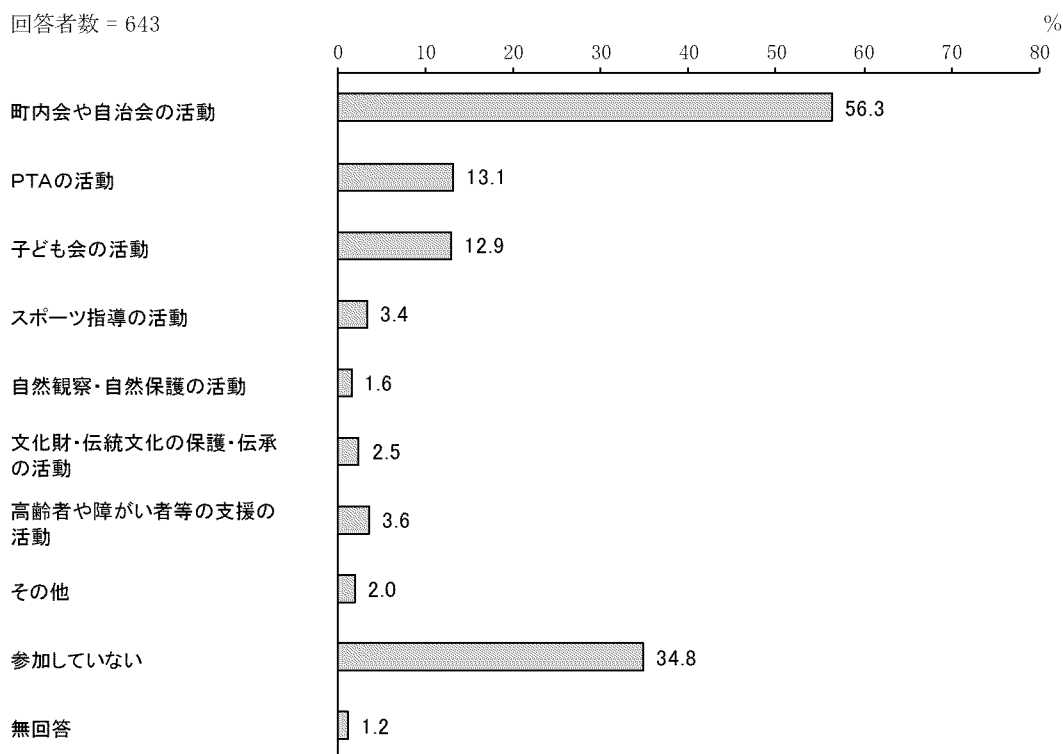
単位：％

区分	有効回答数（件）	男性に対して、DV、セクハラ、マタハラ、バタハラ等についての意識啓発を行う	女性に対して、DV、セクハラ、マタハラ、バタハラ等についての意識啓発を行う	法律・制度の制定や見直しを行う（罰則の強化など）	犯罪の取り締まりを強化する	過激な内容のビデオ、ゲーム等の販売や貸出しを禁止又は制限する	被害者を支援し、暴力に反対する住民運動を盛り上げる	被害者のための相談窓口、保護施設を整備する	加害者に対するカウンセリングや更生を促すプログラムを実施する	放送、出版、新聞などのマス・メディアが倫理規定を強化する	家庭や学校において、男女平等や性についての教育を充実させる	その他	無回答
男性	264	47.3	34.8	48.5	40.5	17.0	10.6	49.6	34.8	18.2	42.4	2.7	0.4
女性	376	50.3	39.1	53.7	37.5	25.3	9.8	53.2	36.7	19.1	47.9	4.0	1.6

## (6) 社会参画について

問 20 次の地域社会活動のうち、あなたが参加している活動は何ですか。該当する番号すべてに○をつけてください。

「町内会や自治会の活動」の割合が 56.3%と最も高く、次いで「参加していない」の割合が 34.8%、「PTAの活動」の割合が 13.1%となっています。



### 【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「町内会や自治会の活動」「スポーツ指導の活動」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「PTAの活動」「子ども会の活動」の割合が高くなっています。

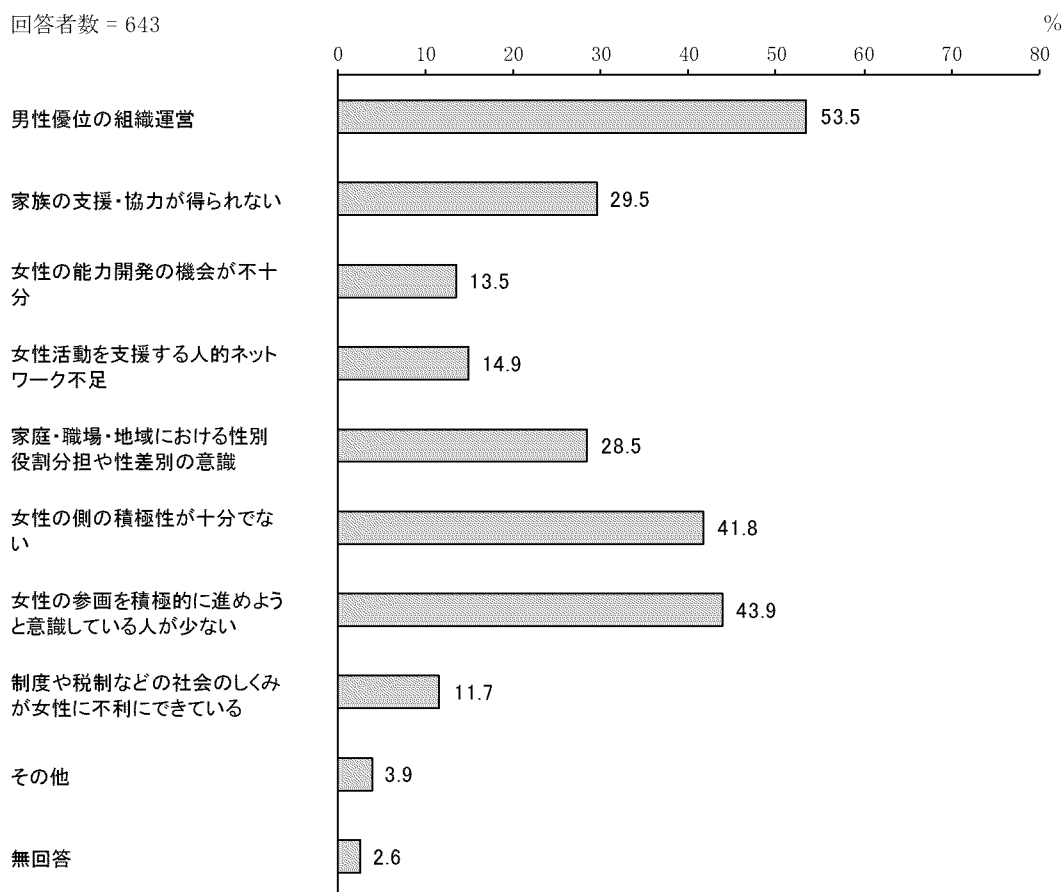
単位：%

区分	有効回答数 (件)	町内会や自治会の活動	PTAの活動	子ども会の活動	スポーツ指導の活動	自然観察・自然保護の活動	文化財・伝統文化の保護・伝承の活動	高齢者や障がい者等の支援の活動	その他	参加していない	無回答
男性	264	62.1	7.6	9.1	7.2	2.7	2.7	1.9	1.5	31.8	0.8
女性	376	52.4	17.0	15.7	0.8	0.8	2.4	4.8	2.4	36.7	1.6

問 21 女性の社会進出は進みつつありますが、町内会や自治会の長、審議会委員や議員等には、まだ、女性が就くことが少ないのが現状です。このように、企画や方針決定過程への女性の参画が少ない理由は何だと思えますか。該当する番号（1～9）3つに○を付けてください。

「男性優位の組織運営」の割合が53.5%と最も高く、次いで「女性の参画を積極的に進めようと意識している人が少ない」の割合が43.9%、「女性の側の積極性が十分でない」の割合が41.8%となっています。

回答者数 = 643



【性別】

性別で見ると、女性に比べ、男性で「男性優位の組織運営」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「女性活動を支援する人的ネットワーク不足」「家庭・職場・地域における性別役割分担や性差別の意識」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	男性優位の組織運営	家族の支援・協力が得られない	女性の能力開発の機会が不十分	女性活動を支援する人的ネットワーク不足	家庭・職場・地域における性別役割分担や性差別の意識	女性の側の積極性が十分でない	女性の参画を積極的に進めようと意識している人が少ない	制度や税制などの社会のしくみが女性に不利にできている	その他	無回答
男性	264	57.6	31.4	14.4	11.4	25.0	41.3	45.1	10.6	3.4	2.7
女性	376	51.1	28.2	12.8	17.3	30.9	42.0	43.1	12.5	4.3	2.7

【年齢別】

年齢別で見ると、他に比べ、40代、60代で「女性の側の積極性が十分でない」の割合が高くなっています。また、10代・20代で「男性優位の組織運営」の割合が、60代で「女性の参画を積極的に進めようと意識している人が少ない」の割合が高くなっています。

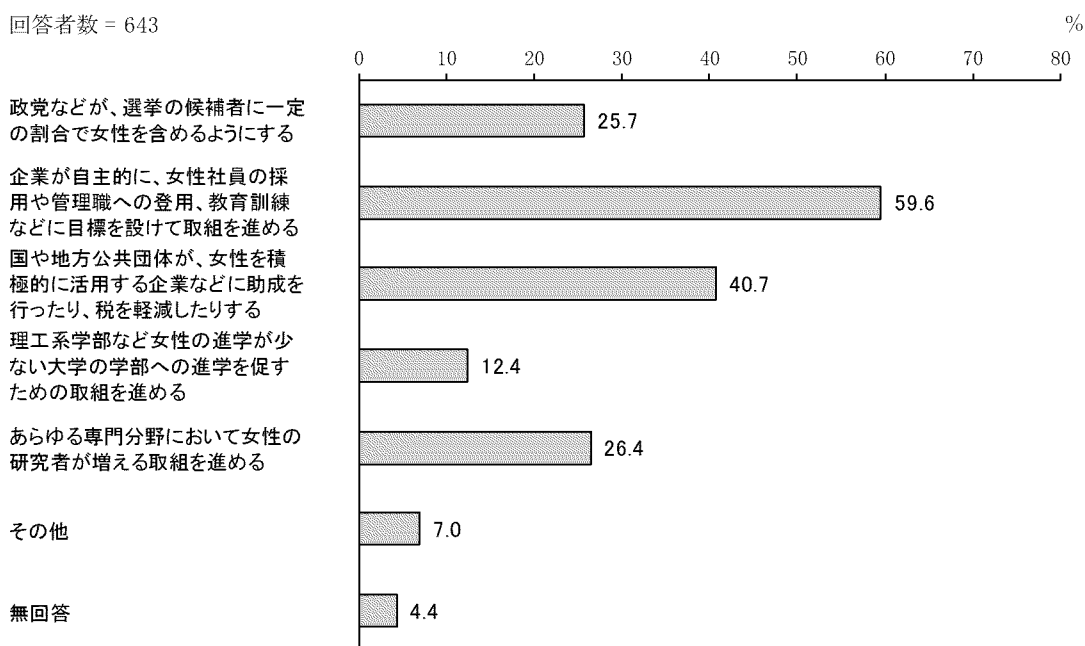
単位：％

区分	有効回答数 (件)	男性優位の組織運営	家族の支援・協力が得られない	女性の能力開発の機会が不十分	女性活動を支援する人的ネットワーク不足	家庭・職場・地域における性別役割分担や性差別の意識	女性の側の積極性が十分でない	女性の参画を積極的に進めようと意識している人が少ない	制度や税制などの社会のしくみが女性に不利にできている	その他	無回答
10代・20代	86	59.3	22.1	12.8	15.1	38.4	36.0	47.7	14.0	5.8	1.2
30代	132	53.0	32.6	12.1	12.1	33.3	36.4	46.2	14.4	2.3	2.3
40代	154	53.2	29.9	12.3	9.7	27.3	46.1	40.3	11.7	7.1	3.2
50代	128	54.7	29.7	12.5	19.5	28.1	37.5	36.7	11.7	3.9	3.1
60代	142	50.0	31.0	17.6	19.0	19.7	49.3	50.0	7.7	0.7	2.8

問 22 女性の社会進出があまり進んでいない分野へ女性の進出を進めていくためには、どのようなことが必要だと思えますか。該当する番号（1～6）すべてに○を付けてください。

「企業が自主的に、女性社員の採用や管理職への登用、教育訓練などに目標を設けて取組を進める」の割合が59.6%と最も高く、次いで「国や地方公共団体が、女性を積極的に活用する企業などに助成を行ったり、税を軽減したりする」の割合が40.7%、「あらゆる専門分野において女性の研究者が増える取組を進める」の割合が26.4%となっています。

回答者数 = 643



【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「あらゆる専門分野において女性の研究者が増える取組を進める」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	政党などが、選挙の候補者に一定の割合で女性を含めるようにする	企業が自主的に、女性社員の採用や管理職への登用、教育訓練などに目標を設けて取組を進める	国や地方公共団体が、女性を積極的に活用する企業などに助成を行ったり、税を軽減したりする	理工系学部など女性の進学が少ない大学の学部への進学を促すための取組を進める	あらゆる専門分野において女性の研究者が増える取組を進める	その他	無回答
男性	264	23.9	57.6	40.5	12.9	22.0	8.0	3.8
女性	376	27.1	60.9	41.0	12.2	29.8	6.4	4.5

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、10代・20代で「国や地方公共団体が、女性を積極的に活用する企業などに助成を行ったり、税を軽減したりする」の割合が、60代で「企業が自主的に、女性社員の採用や管理職への登用、教育訓練などに目標を設けて取組を進める」の割合が高くなっています。

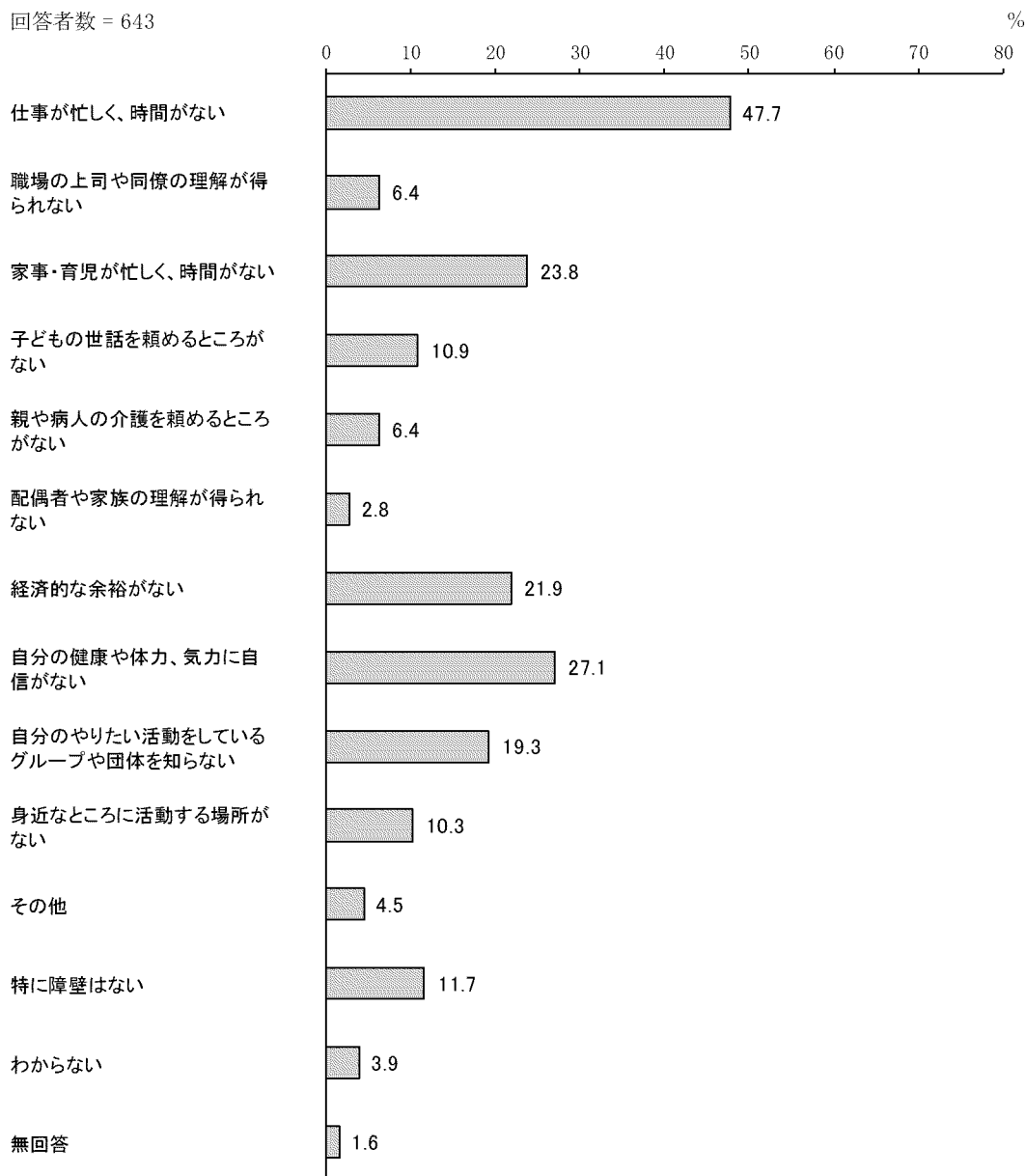
単位：％

区分	有効回答数(件)	政党などが、選挙の候補者に一定の割合で女性を含めるようにする	企業が自主的に、女性社員の採用や管理職への登用、教育訓練などに目標を設けて取組を進める	国や地方公共団体が、女性を積極的に活用する企業などに助成を行ったり、税を軽減したりする	理工系学部など女性の進学が少ない大学の学部への進学を促すための取組を進める	あらゆる専門分野において女性の研究者が増える取組を進める	その他	無回答
10代・20代	86	30.2	57.0	46.5	15.1	17.4	5.8	2.3
30代	132	32.6	53.0	39.4	13.6	25.0	9.1	3.0
40代	154	21.4	55.8	42.2	11.7	26.6	7.8	3.9
50代	128	21.1	63.3	38.3	10.9	22.7	9.4	2.3
60代	142	25.4	67.6	39.4	12.0	36.6	2.8	9.2

問 23 あなたが地域活動をしようとする場合、障壁となっていること、障壁となるであろうと思われることがありますか。(〇はいくつでも)

「仕事が忙しく、時間がない」の割合が47.7%と最も高く、次いで「自分の健康や体力、気力に自信がない」の割合が27.1%、「家事・育児が忙しく、時間がない」の割合が23.8%となっています。

回答者数 = 643





【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「仕事が忙しく、時間がない」「職場の上司や同僚の理解が得られない」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「家事・育児が忙しく、時間がない」「子どもの世話を頼めるところがない」「自分の健康や体力、気力に自信がない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	仕事が忙しく、時間がない	職場の上司や同僚の理解が得られない	家事・育児が忙しく、時間がない	子どもの世話を頼めるところがない	親や病人の介護を頼めるところがない	配偶者や家族の理解が得られない	経済的な余裕がない	自分の健康や体力、気力に自信がない	グループや団体を知らない	自分のやりたい活動をしている場所がない	身近なところに活動する場所がない	その他	特に障壁はない	わからない	無回答
男性	264	62.9	9.8	14.0	6.1	6.1	2.7	22.7	20.1	18.2	9.1	4.5	12.5	2.3	1.5	
女性	376	37.2	4.0	30.9	14.4	6.6	2.9	21.5	31.9	20.2	10.9	4.5	11.2	5.1	1.6	

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、30代、40代で「仕事が忙しく、時間がない」の割合が、60代で「自分の健康や体力、気力に自信がない」の割合が高くなっています。

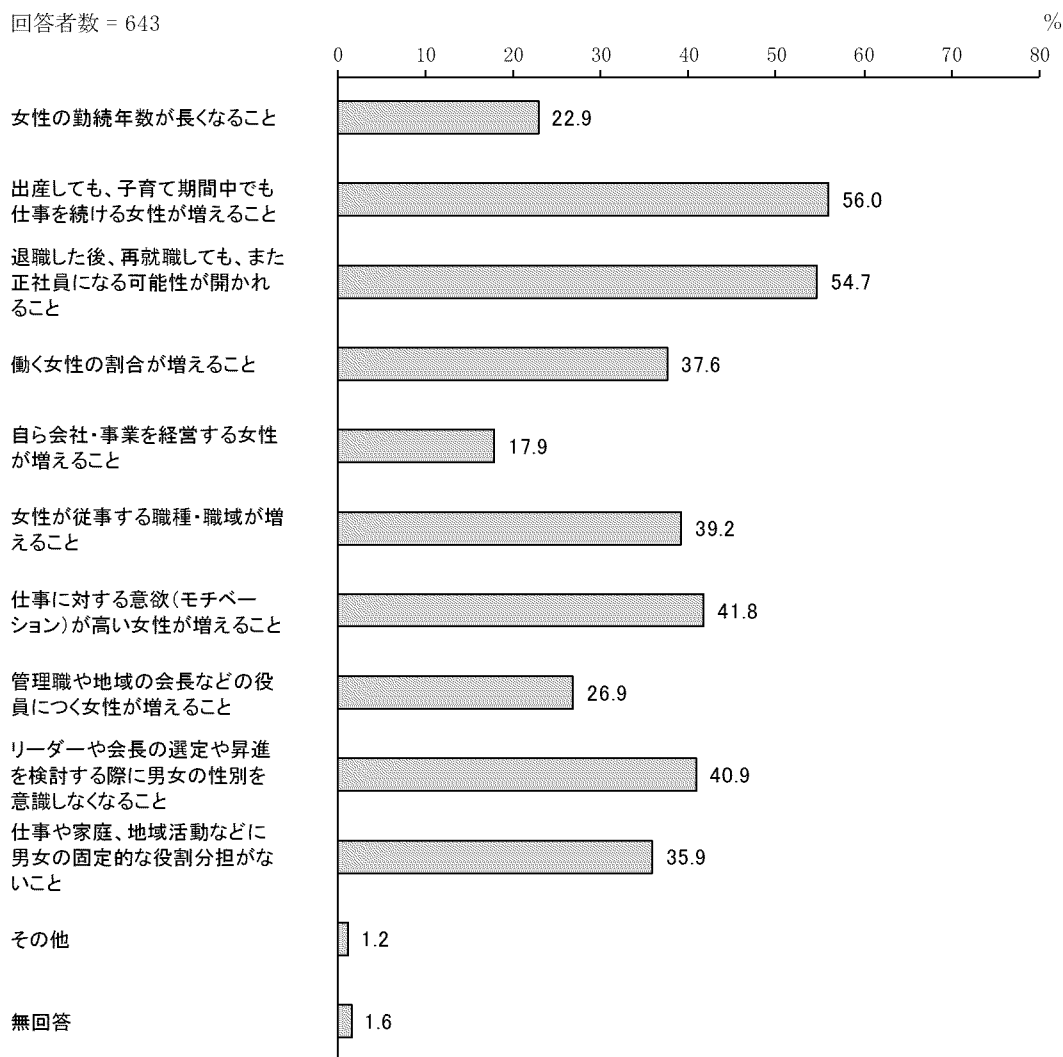
単位：％

区分	有効回答数(件)	仕事が忙しく、時間がない	職場の上司や同僚の理解が得られない	家事・育児が忙しく、時間がない	子どもの世話を頼めるところがない	親や病人の介護を頼めるところがない	配偶者や家族の理解が得られない	経済的な余裕がない	自分の健康や体力、気力に自信がない	グループや団体を知らない	自分のやりたい活動をしている場所がない	身近なところに活動する場所がない	その他	特に障壁はない	わからない	無回答
10代・20代	86	50.0	4.7	17.4	11.6	3.5	1.2	24.4	18.6	32.6	12.8	5.8	7.0	9.3	1.2	
30代	132	56.1	6.1	46.2	25.8	3.8	2.3	25.8	16.7	18.2	11.4	3.0	9.1	3.0	—	
40代	154	58.4	7.1	35.7	12.3	4.5	5.2	22.7	21.4	15.6	6.5	3.9	9.1	3.9	0.6	
50代	128	46.1	6.3	10.2	2.3	8.6	2.3	20.3	29.7	18.0	5.5	8.6	14.8	3.1	2.3	
60代	142	28.9	7.0	6.3	2.8	10.6	2.1	17.6	45.1	17.6	16.2	2.1	16.9	2.1	3.5	

問 24 あなたは、「女性の活躍が推進されている」とはどのような状態だと思いますか。(〇はいくつでも)

「出産しても、子育て期間中でも仕事を続ける女性が増えること」の割合が 56.0%と最も高く、次いで「退職した後、再就職しても、また正社員になる可能性が開かれること」の割合が 54.7%、「仕事に対する意欲(モチベーション)が高い女性が増えること」の割合が 41.8%となっています。

回答者数 = 643



## 【性別】

性別で見ると、女性に比べ、男性で「働く女性の割合が増えること」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「リーダーや会長の選定や昇進を検討する際に男女の性別を意識しなくなること」「仕事や家庭、地域活動などに男女の固定的な役割分担がないこと」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	女性の勤続年数が長くなること	出産しても、子育て期間中でも仕事を続ける女性が増えること	退職した後、再就職しても、また正社員になる可能性が開かれること	働く女性の割合が増えること	自ら会社・事業を経営する女性が増えること	女性が従事する職種・職域が増えること	仕事に対する意欲（モチベーション）が高い女性が増えること	管理職や地域の会長などの役員につく女性が増えること	リーダーや会長の選定や昇進を検討する際に男女の性別を意識しなくなること	仕事や家庭、地域活動などに男女の固定的な役割分担がないこと	その他	無回答
男性	264	20.1	53.8	53.0	42.8	16.3	40.2	41.7	29.2	36.4	27.3	1.9	1.5
女性	376	25.0	57.4	56.1	34.3	19.1	38.8	42.0	25.3	44.1	42.0	0.8	1.6

## (7) 市の男女共同参画社会づくりの推進施策について

問 25 「男女共同参画社会」を形成していくために、今後、行政はどのようなことにかを入れていくべきだと思いますか。該当する番号（1～17）すべてに○を付けてください。

「男女が共に家事・子育て・介護を行うための施策を推進する」の割合が50.9%と最も高く、次いで「男女共同参画に関する幅広い情報の提供を行う」の割合が47.7%、「保育の施設・サービスや、高齢者や病人の施設や介護サービスを充実させる」の割合が44.0%となっています。

岐阜県と比較すると、岐阜県に比べ、瑞穂市で「男性に対して、慣習の見直しなどの意識啓発を行う」「男女が共に家事・子育て・介護を行うための施策を推進する」「学校教育や生涯教育の場で男女の平等と相互理解・協力についての学習を充実させる」「保育の施設・サービスや、高齢者や病人の施設や介護サービスを充実させる」の割合が低くなっています。

